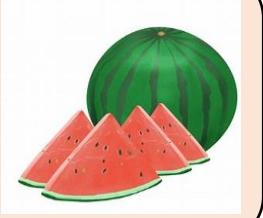


栗原支部だより

第3号 令和4年7月発行



支部長あいさつ

栗原市立栗駒病院

高橋 明美

盛夏の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より栗原支部活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。今年度の支部活動は「withコロナ」で活動に制限がある中でも看護職ネットワーク強化のためにできることを模索しながら活動していきたいと思います。会員の皆様のアイディア提供・ご協力を引き続きよろしくお願ひします。

【ピース訪問看護ステーション】



阿部 淑子

ピース訪問看護ステーション管理者の阿部淑子と申します。地域の皆様、医療・福祉・介護関係者の皆様には常日頃より大変お世話になっております。当訪問看護ステーションは令和3年4月1日開所し、無事に1年を迎えたところです。当初はスタッフ5名のスタートでしたが、現在は看護師6名、理学療法士2名、作業療法士1名、事務1名の10名となりました。パズルのピースようにみんながつながり合い「その人らしい人生を紡ぐ」をスローガンに活動しています。



訪問看護については、私はじめ初心者が多く「これでよいのか」「どうしたらよいか」その患者さんにとって今必要なケアは何か、安全に看護ケア・医療を提供できるよう日々考え、毎日カンファレンスを行ない実践しています。「大いに看護を語る」場としても短時間ではありますが患者カンファレンスはとても重要です。また、亡くなる患者さんも多くデスカンファレンスも行なっております。看護の質向上のためにもこういった話し合いはとても大事なことと考えています。

私は病院勤務が長かったせいか在宅療養、訪問看護について実はあまり興味はありませんでした。しかし

2011年の東日本大震災での被災経験と、父を自宅で看取った経験から今は在宅療養、訪問看護の良さについて後生に伝えていきたいと思っています。病院勤務していた頃も「患者・家族の思いに添った看護」と、看護計画を立て実践していましたが、よりいっそその思いは深く、家族看護まで患者・家族の背景や介護負担など全体を捉えた看護が必要になります。訪問時間内にそれらを実践することは難しく、訪問回数を重ねるうちに患者・家族とコミュニケーションが図れ、信頼関係も得られ身の上話や介護の悩みなど具体的にお話を伺いすることもあります。その時間を大切にこれからも訪問看護師として、安心して在宅での生活が送れるようサポートしていきたいと思います。皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。



【栗原市市民生活部 一迫・花山保健推進室】

鈴木 尚子

栗原市は平成17年に10町村が合併し一つの市になり、平成23年7月に5か所の保健推進室が設置されました。栗原市の保健師は本庁業務を担う健康推進課の他、介護福祉課、社会福祉課、子育て支援





課と5か所の保健推進室に配置されています。今回は一迫・花山保健推進室を紹介します。

保健推進室は一迫総合支所の中にあり、保健師4名と管理栄養士1名が勤務しています。住民に身近な場所で母子健康手帳交付や乳幼児への訪問などの母子保健、精神疾患を患っている方への日常生活支援、住民健診や保健指導などの成人高齢者保健、予防接種業務を行っています。



一迫・花山地区は栗原市の中でも高齢化が進んでいる地域ですが、地域のつながりが強く地区のコミュニティ活動が活発な地区もあります。一迫・花山保健推進室では一迫地区33行政区、花山地区14行政区全てに出向いて健康教室を実施しています。一迫・花山地区は住民健診でHbA1cの要指導者の割合が市内で最も高い地区ですので、令和4年度の健康教室では食事のバランスに注意することや、日常生活に運動を取り入れるなど糖尿病予防について重点的に伝えています。健康づくり運動サポーターさんのストレッチや、食生活改善推進員さんのみそ汁塩分測定などを組み合わせて、地域の皆さんのが興味を持って参加していただけるように考えています。健康教室に参加された方々から「楽しく勉強できた」「学んだことを生活に取り入れたい」等の感想をいただいております。併せて今年度は栗原市全体で「高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業」に取り組んでいます。行政区長や自治会長、保健推進員、健康づくり運動サポーター、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターの方々と連携してフレイル予防など高齢者の健康づくり事業を進めています。私たちは、地域住民に寄り添いながら、その人らしく健康に暮らすことができるよう日々活動しています。

【栗原中央病院】



渡部 輝美

栗原支部会員の皆様こんにちは。まだ今年も新型コロナウイルス感染症への対応に追われる日々が続いています。病院の中にコロナウイルスが入り込むのを防ぎ、院内での感染およびクラスターの発生を起こさせないように対策をとっています。正面玄関での検温や面会制限など皆様にはご迷惑をおかけしています。もちろん100%防ぐのは難しいですが、栗原市の最期の砦として日常診療を継続できるように対応していきたいと考えています。

当院は、救急指定病院・災害拠点病院・生活習慣病予防検診指定医療機関・宮城DMAT指定病院等の役割を持ち、18診療科、313床を有しています。入院基本料は急性期一般病棟：7対1・地域包括ケア病棟：13対1・結核病棟：10対1で、病院理念には「患者さまを第一に考え、いのちを大切にする最善の医療を行い、地域に貢献します」を掲げています。この理念のもと、看護部では「患者様に信頼される看護をめざし、優しい心と温かい手で心に届く看護を提供します」を理念としています。目指す看護師像は、笑顔の素敵な看護師・人の痛み、悲しみ、苦しみ、辛さがわかる看護師・人を思いやることができる看護師・人と協調できる看護師・自ら考え、学ぶことができる看護師です。認定看護師5名（認定看護管理者、感染管理認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師）が在籍しており、患者さま・家族の期待に添えるよう、そしてコメディカルも専門性を発揮しております。地域の皆様から、また職員からも選ばれる病院づくりのために“お互いに心を寄せてわかり合うこと”を大切にして参ります

今年度新人技術研修の様子

